

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】平成 19 年 2 月 8 日 (2007.2.8)

【公開番号】特開 2005-198981 (P2005-198981A)
 【公開日】平成 17 年 7 月 28 日 (2005.7.28)
 【年通号数】公開・登録公報 2005-029
 【出願番号】特願 2004-11009 (P2004-11009)
 【国際特許分類】

A 6 1 B 1/06 (2006.01)

A 6 1 B 1/00 (2006.01)

【F I】

A 6 1 B 1/06 B

A 6 1 B 1/00 3 0 0 B

【手続補正書】
 【提出日】平成 18 年 12 月 18 日 (2006.12.18)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0 0 0 6
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【0 0 0 6】

しかしながら、現状の医療においては、たとえば高温度と圧力を加えた加圧水蒸気を生
 成し、この水蒸気によって、内視鏡装置を蒸気滅菌（オートクレーブ滅菌）してから、被
 検者に対して使用する状況が生じる場合がある。このオートクレーブ滅菌では、たとえば
 1 3 5 に加熱され、かつ 2 . 2 気圧に加圧された加圧水蒸気で、内視鏡装置を 2 0 分間
 加熱して滅菌するので、この 2 0 分間の加熱の間に加圧水蒸気による熱がバッテリー収容ケ
 ースを介してバッテリーに伝わり、電池に悪影響を与えて電池の性能を劣化させる場合があ
 る。